

# 人権と多様性を尊重する県政へ前進を!

# 障害児教育の拡充を求める



中山議長に申し入れ(9月28日)

## 政務活動費の虚偽申請疑惑

## 説明と資料提出を要求

宮城県議会の中山耕一議長が政務活動費を健康器具の購入に充てていた問題について、日本共産党の8人の宮城県議会議員が9月28日、連名で説明とそれを裏付ける資料を示すことを求め、遠藤いく子団長、三浦一敏幹事長が中山議長に申し入れ書を手渡しました。

で、中山耕一氏が自民党・県民会議の代表だった時期に政務活動費でパソコンと周辺機器を33組購入していたことが表面化した時に、早々と「問題ない」と監査に介入する発言をした村井嘉浩知事を追及。「不適切な発言は撤回」するよう求めました。村井知事は「私的な場での発言」として撤回を拒否しました。

## 「県の責任で」新設を確認

## 仙台南部に特別支援学校

### 中嶋県議

宮城県の特別支援学校(県立二十二校と仙台市立二校)の必要面積は十六万九千九百平方メートル、保有面積は十二万三千八百七十八平方メートルで、七〇・三％しかない。仙台圏の四校は約半分だ(表を参照)。障害者権利条約に反する。国に申請すれば予算措置が十分可能だ。仙台圏には複数校を新設し、規模が過大な学校は解消して、一人ひとりの子どもに教員の集団的な指導が行き届くようにすることをめざすべきだ。

### 村井知事

狭隘化の解消に努力していく。

### 中嶋県議

さまざまな課題を抱えている児童生徒のための通級指導は効果がある。ニーズが多いのに二〇二五年度は全県で八十八校、九百五十九人だけ。とくに中学校は仙台市内で五校、全県でも十一校だけだ。ニーズのある学校に対応し、中学校は全市町村に配置すべきだ。

### 教育長

通級指導の教員は政令加配だったが、来年度以降は基礎定数化される。また高校でも通級指導が可能になる方向だ。国の動向を注視して対応する。

### 中嶋県議

通常学級に在籍している発達障害のあるすべての児童に「個別の支援計画」を策定する方向だ。策定を急げないか。



## 中嶋れん議員の一般質問

次期男女共同参画基本計画には、性的マイノリティの方への対応を明記すべき。

### 中嶋県議

国の計画を踏まえ対応する必要があると考えている。

### 中嶋県議

性的少数者は自殺未遂率が高いとの調査結果もある。人権を守り、多様性を尊重する観点から対応が急務だ。

### 村井知事

国の計画を踏まえ対応する必要があると考えている。

### 中嶋県議

特別支援教育には財政、マンパワー、専門性が不足している。財政を国に要求し、県も手厚くすべきだ。

### 村井知事

財政措置を国に要求する。県としても必要な予算の確保に努める。

### 中嶋県議

特別支援学校が特に不足している仙台南部について、新設も含め検討すると発言したが、設置義務のある県が設置するのか確認したい。

### 村井知事

県の責任でいく。

### 中嶋県議

仙台市による新設も希望しているが、まず、設置義務のある県が確固たる姿勢を持つことが、仙台市に対する説得力にもなる。

子どもたちは毎日成長している。一日でも早い開校が望ましい。スケジュールはどうなっているのか。

## 性的マイノリティを県の計画に

## 「考えていない」→「検討」に転換

### 中嶋県議

性的マイノリティの方に対する配慮のあり方などについて審議会で議論いただき、その意見を踏まえて、計画への記載について検討する。

### 環境生活部長

性的マイノリティの方に対する配慮のあり方などについて審議会で議論いただき、その意見を踏まえて、計画への記載について検討する。

## 女川原発

## 専門家の問題提起を尊重し 安全審査の改善を国に申し入れよ

### 中嶋県議

女川原発2号機の安全性に関する検討会にて、被災した原発である女川原発の安全審査のあり方を、改善するよう国に申し入れるべきと、問題提起がなされたことについて、重く受け止め、集中的な検討を行ったうえで国に申し入れるべき

### 環境生活部長

県としても施設の健全性の確認は大変重要と認識。これまで国に対し、2号機の審査に当たっては被災した施設であることとを前提として安全確認を行うよう要望してきた。

「女川原子力発電所2号機の安全性に関する検討会」においては、国の安全検査や審査を踏まえて施設の健全性を確認していただくこととしており、県としては、国の審査状況を注視し、適切に対応していく。

### 教育長

できるだけ早く。仙台市南部の適地を探している段階で、場所が決まれば設計などをして、数年後に開校する予定。

### 中嶋県議

できるだけ早く開校することを希望する。

日本共産党 県議団ニュース

速報版

2016年9月 第2号

発行:日本共産党宮城県議会議員団 (事務所) TEL 022(267)1511 (控室) TEL 022(211)3523 FAX 022(268)6093 http://www.jcpmk.jp/

※富谷分校を含まない面積